

(臨床研究に関するお知らせ)

日本赤十字社和歌山医療センターに入院され、心臓リハビリテーションを受けられた患者様へ

心臓リハビリテーションは患者様の身体機能低下を防ぐために、入院後早期から行っていくことが重要となります。当院でも入院後に診療ガイドラインに則した標準的なリハビリを提供できているのかを検討することに加えて、入院後のリハビリ進行における遅延割合及び遅延理由を明らかにするために研究しています。研究は過去の診療情報や検査データなどを振り返り解析を行う「後ろ向き観察研究」で当院の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在している情報を利用させていただく研究ですので、患者様に新たな検査や費用をご負担いただくものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分注意をはらっています。

この研究に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報などが研究利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡くださいますようお願いいたします。

## 1.研究課題名

当院における心臓リハビリテーション進行状況の検討

## 2.研究責任者

前馬 直明

日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション科部 理学療法士

## 3.研究目的

当院で入院され心臓リハビリテーションを受けられた患者様のデータを収集、解析することでガイドラインに則したプログラム導入前後でのリハビリ進捗状況やリハビリプログラム実施中の進行遅延の有無や進行遅延理由を明らかにし、その関連因子を検討することを目的としています。

## 4.研究の概要

### 1) 対象となる患者様

2020年4月から2035年3月までに当院に入院され心臓リハビリテーションを受けられた患者様を対象としています。

## 2) 利用させていただく情報

年齢、性別、既往歴、要介護・要支援認定者数、認知機能、血液検査、心臓エコー検査、心電図検査、内服薬、治療経過、SPPB、握力、Barthel Index、6分間歩行距離、歩行速度、歩行開始までの日数、ベッド周囲歩行までの日数、50m歩行達成までの日数、100m歩行達成までの日数、200m歩行達成までの日数、集団リハ移行までの日数、入院後のリハビリ実施日数に関する電子カルテ内の情報です。

## 3)方法

患者様のデータを電子カルテで調査させていただき、データ解析を行いリハの実施状況を調べます。

## 4)個人情報の取り扱い

利用する情報からは、患者様を特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

## 5)ご自身の情報が利用されることを望まない場合

患者様には、ご自身の診療情報などが利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合には下記の連絡先までご連絡下さい。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 6)資金源および利益相反などについて

記載すべき経済的な利益関係や利益相反はありません。

## 5.問い合わせ先

和歌山県和歌山市小松原通四丁目 20 番地

日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション科部 理学療法士 前馬 直明

電話 073-422-4171